



くぬぎ通信



2020年1月発行 第346号
市原第7団ボーイ隊長 土橋一弘
2020年1月度テーマ ; キャンプに行こうよ

12月度 隊活動

22日は団全体でクリスマス会を行いました。
例年の室内ではなく、今年は屋外（野営場）にて行うことになり、いかにもクリスマスという装飾は無かったけれど、ファイヤーを囲んで一体感のある楽しいクリスマス会になったと思います。
バッファロー班のスタントは良く練習されており、大きな声の演技でみんなを笑わせてくれました。
ハヤブサ班のクイズは班名のハヤブサについて良く調べてあり、みんなが知らない驚きの生態を紹介してくれました。
29日は毎年恒例の長距離ハイキング。雲一つ無く無風の快晴の中、約35kmを踏破しました。体調不良でやむなく途中棄権となったスカウトもいましたが、昨年のくまスカウトとして参加した距離より、2倍の30kmを歩き切ったのです。個人の頑張りもありますが、班長をはじめとしたみんなと一緒に歩いたことも大きいでしょう。
(ハヤブサ7:45発~20:10着、バッファロー7:50発~18:34着)

スカウト諸君へ

1月以降の隊活動予定

- テーマ ; キャンプに行こうよ
- 活動目標 ; 神をうやまい、自分のつとめを行う。
愛と感謝する心を養う。
- プログラム ; キャンプ(耐寒)
- ソング ; 楽しキャンプの朝 P60(新P58)、谷間のキャンプ P76(新P74)
- 当番班 ; バッファロー

日時	場所	集会	内容
14日(火)	姉崎公民館	班長会議、班長訓練	耐寒キャンプ検討
未定	未定	班集会	
25(土)~26(日)	野営場	隊集会	耐寒キャンプ
2月4日(火)	野営場	班長会議、班長訓練	B-P祭、スキー課題
2月16(日)		団行事	B-P祭
2月21日~23日 予定	戸狩温泉スキー場	隊集会	スキー

【クリスマス会】

バッファロー班「北風と太陽」



ハヤブサ班「ハヤブサの生態クイズ」



バーベキュー「肉、煙、肉、煙・・・」



【長距離ハイキング】

JR久留里線 終点:上総亀山駅~各駅経由~野営場 L=35km

JR久留里線 上総亀山駅
朝日に向かって出発



JR久留里線 平山駅
課題偵察



JR久留里線 馬来田駅
ホーム上にて課題計測(100m歩測)



「スカウト運動」 E.E.REYNOLDS より(一部加筆修正要約)

~最初の原理~

「原理」と書くとなかなか難しい言葉に思えるので、「スカウト運動(本)」の記述から、ベーデン=パウエル(B-P)の考え方などについてなるべく分かりやすく紹介したいと思う。
スカウティングは学校教育を補足するために、ウッドクラフト(自然の中で生活する知識・技術)を通じての公民教育である。学校と異なり少年と大人とが任意の構成で自由に参加できることをB-Pはスカウティングのどの目的より強調していた。
そのスカウティングの目的をB-Pが説明するとき「人格」という言葉をいつも用いていた。その「人格」の意味は「理想、独立精神、義務感、不屈、自尊、他尊」により形成されるもの。
そのような人格を学ぶための教えを少年に説いても、行動と関連しなければほとんど理解されないとB-Pは知ると同時に、少年の前に適切な理想を掲げる必要を感じた。
そこでB-Pは基本的なこととして、少年が入団する時に自発的に発言する「ちかい」と「おきて」を作った。
なぜなら、少年の自らの言葉で名誉にかけてちかったものは守るものであると理解していたからだ。その言葉は「〇〇します」「〇〇である」であり「〇〇しない」「〇〇するな」の禁止形式ではない方法をB-Pは選んだのである。
そして、少年を信頼し「少しばかりの失敗(経験)は多くの成功へのわずかな支払い」と考えること。
B-Pがつくった「ちかい」には「最善をつくします」の言葉があった。これは少年が「ちかい」に対し大きな負担にならぬよう「最善を尽くせばちかいに忠実である」と考えられるようにしたものであった。